

城南SSH

月刊

福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙

令和4年度 10月号
SSH部発行



全体会(ホールミーティング)の様子



より詳しいお話を聞きます



積極的に質問もできました！

理数コース 第1・2学年 サイエンスミーティング

9月23日(金・祝)にサイエンスミーティングが行われました。オンライン実施となった昨年度とは異なり、本年度は対面で実施することができました。この講演会は、企業や大学で研究職や技術職に従事する理数コースの卒業生の方を講師としてお迎えし、毎年実施しています。本年度は、データサイエンス、獣医、技術者、量子科学に関する研究者、創薬、デザイン関係といった、様々な分野の講師7名にお話しいただきました。生徒たちはまず全体会で講師全員の話を聞いた後、3グループに別れ、さらに詳しい仕事内容や研究内容等、深い話を聞きました。進路の決め方や今のうちに何を頑張っておくべきなのかといった様々な質問にも答えてくださり、非常に活発な話し合いをすることができました。以下は、生徒の感想文の抜粋です。

今回の講演で、工学から医学、化学から機械・電気のように一見まったく別の内容に見えることでも、実は工学の知識を活用した医学のように、深い部分では強い関係を持っていることが分かりました。様々な方面の知識を取り入れ、組み合わせて活用していくことが大切であることが分かりました。

理数コース 第3学年 理数ゼミⅢ 英語ポスター発表会

9月26日(月)の6, 7限の理数ゼミⅢの授業において、英語ポスター発表会を実施しました。この発表会は、1年時から取り組んできた課題研究の内容を英語でポスターにまとめ、英語で発表するという活動です。それぞれの研究で用いられる専門用語を英語で表現し、英語科の先生方やALTの先生にもご指導いただきながら、研究内容を英語でポスターにまとめました。さらに英語での発表原稿を作成し、繰り返し発表練習を行ってきました。どの班も日本語から英語に翻訳することや英語での発音に大変苦労していましたが、班員と協力し、試行錯誤を繰り返しなら発表会当日を迎えました。

発表会当日は、昨年度の先端技術体験講座でお世話になった九州産業大学と福岡大学の母国語が日本語でない留学生の方々にご参加いただきました。また、1, 2年生の理数コースの生徒や本校の先生方にも参加してもらいました。

発表会では開会行事の司会や挨拶も全て英語で行いました。生徒達の様子に緊張も見られましたが、準備期間の成果を発揮して、懸命に英語で伝えていました。また、ご参加いただいた留学生の方々や先生方からの英語での質問に対して、英語で返答する場面もありました。英語での発表は難しい挑戦であったと思います。しかし、大学進学後、研究者としての道を歩む上で経験するであろう学会等での発表を見据えた今回の挑戦は、大変貴重な体験となりました。困難な課題に挑戦することの大切さと、それを乗り越えたときの充実感を体験した一日となりました。



発表練習の様子



発表会全体の様子



発表や質疑応答の様子